

下諏訪町の維持向上すべき歴史的風致

【下諏訪町の歴史的風致】

下諏訪町は、中山道と甲州道中が合流する交通の要衝であり、中山道随一の温泉宿場町として、また全国に一万余の分社を持つ諏訪神社下社の門前町として歴史を重ねてきました。私たちは、国指定重要文化財諏訪大社下社春宮と秋宮の門前の温泉宿場町や周辺の市街地を舞台に、千二百年以上の歴史をもつ式年造営御柱大祭をはじめとした祭礼の伝統文化を脈々と受け継いできました。活気あふれる祭礼の伝統文化が宿場町の風情の中に伝承されて、下諏訪町固有の歴史的風致を形成しています。

長野県指定文化財
「諏訪大社式年造営御柱大祭」



「木落し」

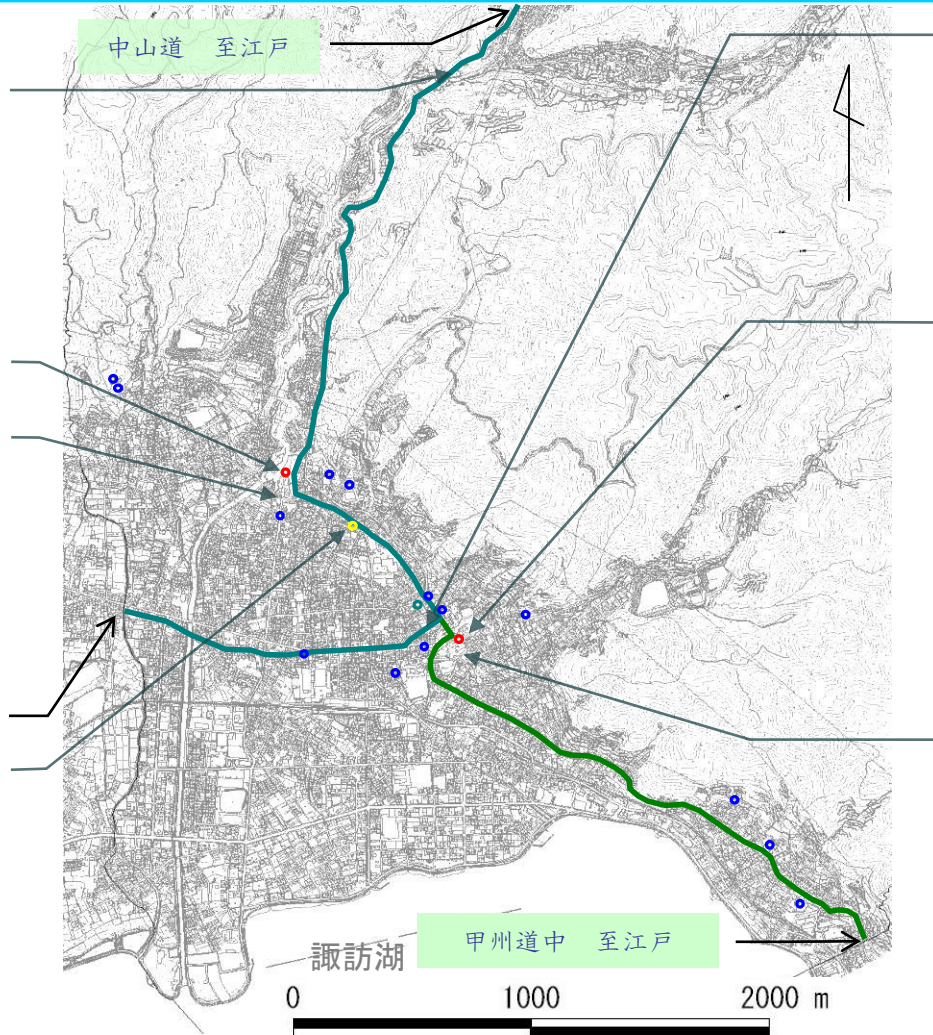
国指定重要文化財諏訪大社下社
春宮 幣拝殿、左右片拝殿



「道中長持ち」

中山道 至草津・京都

登録有形文化財
旧伏見屋店舗兼主屋



中山道・甲州道中下諏訪宿

国指定重要文化財諏訪大社下社秋宮
幣拝殿、左右片拝殿、神楽殿



国指定重要文化財
「諏訪大社下社秋宮幣拝殿」

長野県指定文化財
「諏訪大社式年造営御柱大祭」



「建て御柱」

下諏訪町の重点区域における施策・事業概要

歴史的風致維持向上施設の整備に関する事業

◇道路美化化事業

(1)町道春社大門通り線

国指定重要文化財諏訪大社下社春宮幣拝殿に連絡する町道の美化を行った。



(2)町道立町線ほか

中山道下諏訪宿及びその周辺地区において町道の美化を行う。



◇小公園整備事業

(1)下諏訪宿周辺

中山道下諏訪宿周辺に小公園を整備する。

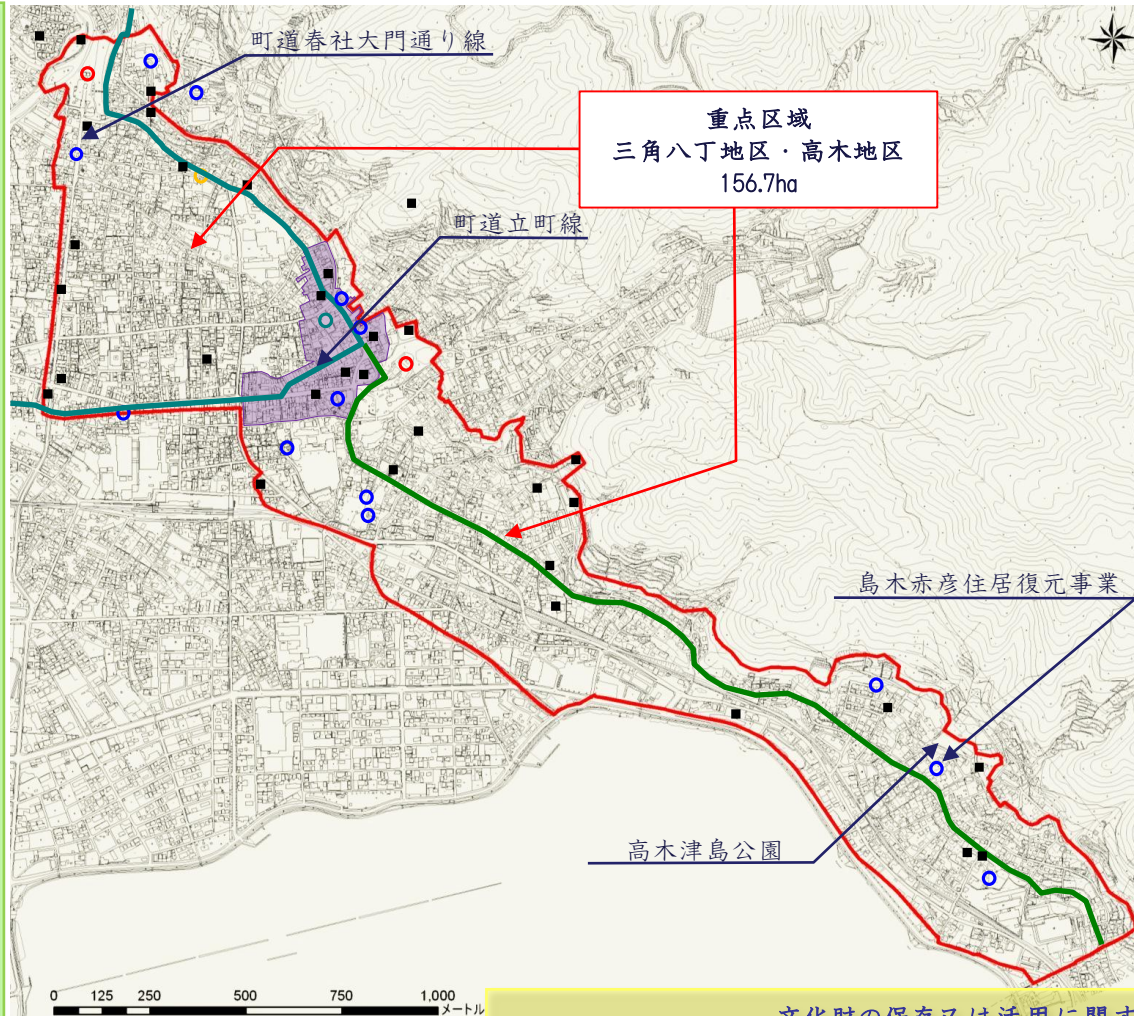


(2)高木津島公園

町指定文化財島木赤彦住居の復元に合わせて小公園を整備した。

◇案内施設の整備

重点区域内における歴史的文化財の案内施設を整備する。



| 凡例 | |
|--|----------------|
| | 重点区域 A=156.7ha |
| ○ | 国指定文化財 |
| ○ | 登録有形文化財 |
| ○ | 長野県指定文化財 |
| ○ | 下諏訪町指定文化財 |
| ■ | 歴史的建造物等 |
| | 下諏訪宿景観形成重点地区 |

文化財の修理（整備を含む）に関する事業

◇高札場復元事業

中山道下諏訪宿の入口にあった高札場を復元した。



◇島木赤彦住居復元事業

文化・文政年間以前建築の町指定文化財の復元修理を行った。



文化財の保存又は活用に関する施策

◇下諏訪町景観計画による規制

下諏訪宿景観形成重点地区を中心に規制誘導を行う。

文化財の保存又は活用に関する施策

◇文化財の保存・活用団体の活動支援

文化財の保存活動や文化財を活用した普及啓発を行う団体の活動支援を行う。

